

## OpenRTM-aist (C++) - 整備 #325

### pkg-configの導入

2009/01/10 19:39 - n-ando

<b>ステータス:</b>	終了	<b>開始日:</b>	2009/01/10
<b>優先度:</b>	通常	<b>期日:</b>	
<b>担当者:</b>	harumi	<b>進捗率:</b>	100%
<b>カテゴリ:</b>		<b>予定工数:</b>	0.00時間
<b>対象バージョン:</b>			
<b>説明</b>			
Linuxにおいては現在、外部ライブラリパッケージのconfiguration情報やライブラリ情報を取得する方法としてpkg-configが一般的であるのでそれに対応させる。			
<ul style="list-style-type: none"><li>• pkg-configについて調査</li><li>• pkg-configがないディストリについてはこれまで通りrtm-configを使用</li><li>• pkg-configがあるディストリはpkg-configを使用、パッケージも対応させる</li><li>• rtm-configはpkg-configがある場合はそれを利用し、なければ自前の情報を使う</li><li>• したがってMakefileはこれまで通りrtm-config使用のままとする</li></ul>			

### 履歴

#1 - 2009/01/11 22:24 - n-ando

- ステータスを新規から終了に変更

- 進捗率を0から90に変更

OpenRTMおよびcoilに対して、pkg-configを導入した。

主な変更点は以下の通り

- configure.ac
  - AC\_CONFIG\_FILES で libRTM.pc/libcoil.pc を生成
  - AC\_ARG\_WITH で --with-pkgconfigdir オプションを追加
  - AC\_MSG\_NOTICE で pkgconfigdir を追加
  - AC\_SUBST(pkgconfigdir) を追加
  - AC\_OUTPUT の Makefile (coil のみ)追加
- utils/rtm-config および coil-config
  - Makefile.am に pkgconfigdirおよびpkgconfig\_DATA定義を追加
  - libRTM.pc.in および libcoil.pc.in を追加

以上で、libdir/pkgconfig以下に libRTM.pc/libcoil.pc

がインストールされ、pkg-configから参照できるようになるが、pkg-configの機能をより有効に使用するためには、以下の点で改良が必要。

- 依存関係を.pc内のRequireに記述
  - configure で依存パッケージ名を順次拾って設定する必要あり
  - どのCORBAを使用するかによって大きく変わってしまうので
  - パッケージ名はディストリに関係なく同じなのか？

ただし、現在のところrtm-configですべて足りているので、あまり深入りはしない方がよいか？

#2 - 2009/01/11 22:26 - n-ando

- ステータスを終了から却下に変更

#3 - 2009/01/11 22:27 - n-ando

- ステータスを却下から新規に変更

#4 - 2009/01/11 22:28 - n-ando

- ステータスを新規から担当に変更

- 担当者を匿名ユーザーからn-andoに変更

#5 - 2009/01/13 12:34 - n-ando

- 担当者をn-andoから匿名ユーザーに変更

#6 - 2010/01/12 12:03 - n-ando

- 担当者を匿名ユーザーから harumi に変更

rpm, debパッケージでpkg-configの.pcファイルがインストールされているかどうか調査。  
もし、されていないようであれば、インストールされるようにspecファイル、debパッケージコントロールファイルを修正。

#7 - 2010/03/01 09:52 - n-ando

- ステータスを担当から終了に変更

- 進捗率を90から100に変更